

授業科目名	日本語教授法	単位数	2
担当教員名	南口順子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	外国人に日本語を教える立場、日本人に日本語教授法を教える立場からの教育経験を踏まえてこの科目を担当している。		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>この授業では「日本語教育」で概観した言語としての日本語の知識をもとに、それを実践的に活用し、具体的にどのように教えていくかという日本語教授法の基礎知識の習得を目指している。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>日本語を母語とする日本人に対する国語教育に対して、日本語教育の対象となる学習者は実に多様な背景を持っており、それぞれ学習目的も学習目標も異なっている。その多様な学習者にどのように日本語を教えていくのか、その方法について考察していく。</p> <p>この授業は日本語教授法の概説的内容を扱い、この知識を前提に具体的な教室活動を技能別に扱う「日本語教育演習1」と「日本語教育演習2」が設置されている。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：第1章「日本語教師の役割」</p> <p>第2回：第9章「いろいろな外国語教授法」①構造言語学・行動主義心理学を基にした教授法</p> <p>第3回：第9章「いろいろな外国語教授法」②心理学・認知学習理論を基にした教授法</p> <p>第4回：第9章「いろいろな外国語教授法」③脱教授法時代、協働言語学習法他</p> <p>第5回：第2章「日本語を教えるということ」①コースデザイン、ニーズ・レディネス調査</p> <p>第6回：第2章「日本語を教えるということ」②シラバス</p> <p>第7回：第2章「日本語を教えるということ」③教材について</p> <p>第8回：第2章「日本語を教えるということ」④カリキュラム、教案</p> <p>第9回：第3章「初級の教え方」①発音・会話</p> <p>第10回：第3章&amp;第4章「初級の教え方」②発音・会話 練習の指導</p> <p>第11回：第4章「初級の教え方」③文字・読解</p> <p>第12回：第5章「中上級の教え方」①会話・聴解</p> <p>第13回：第6章&amp;第7章「中上級の教え方」②読解・情報収集、その他のクラスの指導</p> <p>第14回：第8章「評価と試験」①評価</p> <p>第15回：第8章「評価と試験」②試験</p>			
<p>スクーリングでの学修内容</p> <p>1日目：1. 実習に向けてのオリエンテーション</p> <p>2. 初級で身につけたい能力</p> <p>3. コミュニケーション能力を育てる授業 (授業の流れ：導入➡基本練習➡応用練習)</p> <p>2日目：4. 授業設計の概要 (手順：教科書分析➡学習目標設定➡学習項目分析➡教案作成➡授業実践➡授業評価)</p>			

テキスト

高見澤孟（2016）増補改訂版『新・はじめての日本語教育 2』アスク出版  
『みんなの日本語初級 1』第 2 版 本冊 スリーエーネットワーク＊  
＊スクーリング・実習時使用図書

参考書・参考資料等

高見澤孟著、監修、ハント蔭山裕子、池田悠子、伊藤博文、宇佐美まゆみ（2016）  
増補改定版『新・はじめての日本語教育 1』アスク出版 ＊資料は必要に応じて適宜紹介する

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。